

扶桑町の取り組み...

調節池と貯留槽

扶桑町内には、河川及び用水等を流れる雨水を一時的に越入させ、下流へ流れ出る雨水の量を調節する「調節池」という施設と、大雨時に河川等に雨水が流れ出る前に一時的に貯留する「貯留槽」という施設があります。町内に調節池は3箇所、貯留槽は31基あり、約28,000m³の貯留が可能で大雨時に洪水を防ぐために活躍しています。

公園の下に設置した貯留槽（高雄南公園 令和3年完成）



工事中



完成

PR 活動

毎年4月下旬から5月中旬にかけて、扶桑町内にある「中島調節池」では、地元の老人会のみなさん、保育園の園児たちで「こいのぼり」を設置しています。このこいのぼりが「総合治水週間」のPRを引き立てています。



こいのぼりの設置



総合治水週間横断幕の設置

家庭でもできる浸水・環境対策にご協力をお願いします。

雨水浸透柵設置費補助金

雨水浸透柵とは、穴あきの塩化ビニル及びコンクリート等で作られた雨水柵です。普通の雨水柵では浸透しないため、雨どいから受けた雨水は排水管などを通して、そのまま川に流れ込んでしまいます。浸透柵を使用することにより、雨水は大地にしみ込んでいきますので、川に流れ込む雨水の量を軽減することができます。扶桑町では都市化が進み、今まで自然に大地へ浸透していた雨水が一時に流れ出るようになり、町内の至る所で道路冠水や浸水被害を起こしています。このため、平成5年度より補助金制度を設けました。町内で建築物等の新築及び増改築時には、浸透柵を設置していただきますようお願いいたします。また、この補助金制度は既設住宅等に浸透柵を設置する場合にも適用されます。

<補助金額>

雨水浸透柵設置費1基あたり15,000円です。負担者に対し4基まで交付します。

雨水利用貯留施設設置費補助金

扶桑町では、平成23年度より町内において雨水貯留タンクを設置しようとする方を対象に補助金制度を設けました。この制度は、屋根に降った雨水を雨どいから雨水を集め、貯留タンクに貯めることにより、降雨時における河川への流入負担を軽減すること(雨水流出抑制)、貯水の庭木散水等への有効活用を図ること(雨水有効利用)を目的としています。



雨水浸透柵と雨水利用貯留施設の展示
(土木課窓口)

<補助金額>

雨水貯留タンクの購入費及び設置工事費の4分の3以内の額

（消費税及び地方消費税を含む。）

補助金の上限は1基につき30,000円。ただし、千円未満の端数は切り捨て。）

<補助の条件>

雨水貯留タンクは、1基あたり80リットル以上の貯留容量があるもので、雨どい等を経て雨水貯留タンクに流入させる構造としてください。また、散水等に有効利用できるもので蛇口等により排水を容易にできる構造としてください。負担者に対し2基まで交付します。

浸水防止塀設置費補助金

近年、頻発に発生する集中豪雨による浸水被害の防止及び軽減対策として、過去に浸水被害に見舞われた方、今後浸水被害に見舞われそうな方を対象に、浸水による家屋等の被害を防止・軽減を図るため、新たに浸水防止塀を設置された方に対し、補助金を交付します。



町内に設置された浸水防止塀

<補助金の対象地区>

浸水による家屋の被害が発生する恐れがあると確認できる地区

(詳しくは、土木課までご相談ください。)

<補助金額>

浸水防止塀の設置費又は材料費の要する費用の2分の1に相当する額。

補助金の限度額は、200,000円。

補助金額に1,000円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てた額。

問い合わせ

扶桑町産業建設部土木課工務グループ

電話:0587-93-1111(内線294)

E-mail:doboku_sc@town.fuso.lg.jp

HP アドレス:<http://www.town.fuso.lg.jp/>